

愛媛県立病院中期経営戦略の概要（中央病院）等について

1 愛媛県立病院中期経営戦略策定の経緯

平成27年3月に総務省が『新公立病院改革ガイドライン』を策定し、平成27年度又は平成28年度に、新改革プランを策定することが求められた。

このため、愛媛県では「県立病院機能強化検討委員会」を平成27年4月に設置し、県立4病院の今後進むべき方向性や役割のほか、経営の健全性等の機能強化方策について検討を行い、地域医療構想を踏まえた役割の明確化などを含めた議論を行い、平成28年3月に「愛媛県立病院中期経営戦略」（期間：28～32年度）として策定した。

2 目指すべき病院像と主な取り組み（抜粋）

○県立中央病院

高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターを併設し、三次救急、周産期、小児の高度救急医療、がん、脳神経疾患、心臓疾患等の高度急性期医療や骨髄移植等の特殊医療を県民に提供する県下の基幹病院、及び県下における人材育成機能の中核病院

【主な取り組み】

①政策医療の強化

- ・ドクターヘリを活用した救急医療体制の強化
- ・地域周産期母子医療センター等との連携によるハイリスク妊産婦、早産児等への適切な対応
- ・専門的、先進的ながん医療の推進
- ・移植コーディネーターの育成や拠点病院セミナー開催等による医療関係者の育成
- ・ダ・ヴィンチ（医療ロボット）手術適用

②地域医療機関との連携強化

- ・地域医療連携室スタッフの確保・育成
- ・連携先病院等の訪問による営業力強化
- ・地域医療連携懇話会の開催等による積極的な情報発信
- ・人間ドック機能の廃止（PETドックは当面継続）

③医師及び看護師の確保・人材育成機能の強化

- ・臨床研修等を通じた人材育成機能の強化
- ・新たな専門医制度に対応した基幹研修施設としての機能強化及び医師派遣機能の強化
- ・新たな専門医制度に向けた指導医資格の積極的な取得
- ・職員の専門性の向上

④経営の効率化

- ・手術部機能の強化及び入院サポートセンターの設置
- ・適切な診療報酬請求事務の推進
- ・後発医薬品の使用拡大

【平成29年度病床機能報告について】

	過去 (H28年度)	現在 (H29年度)		将来 (2025年度)
高度急性期	774床	318床	⇒	318床
急性期	0床	456床		506床
回復期	0床	0床		0床
慢性期	0床	0床		0床
その他	50床	50床		0床
(合計)	824床	824床		824床

○平成29年度報告において、機能に応じた病床に整理
(高度救命救急センター等を中心とした高度急性期病床と、急性期病床に見直した)